

労働と看護の質向上のためのデータベース(DiNQL)事業

看護実践の可視化・看護政策提言に必要な 看護の大規模データベース構築に向けて

～2023年度より新たなDiNQLが始まります～

日本看護協会 医療政策部



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

看護実践の可視化・看護政策提言には 看護の大規模データベースが必要です

- 日本看護協会では、2015年度より「労働と看護の質向上のためのデータベース(DiNQL)」事業を運営してきました。
- 少子高齢社会を迎え、臨床現場における医療・看護の質の向上、そのための改善活動はもとより、質の高いサービスを効率的に提供できる体制整備に向けた政策立案・実施が重要となっています。そして、これらの政策立案は、大規模データをもとに議論されます。
- 診療報酬改定や都道府県医療計画の策定等では、医療・看護について**説得力のあるエビデンスの提示**が強く求められるようになりました。
- しかし、現段階では、看護実践の可視化やエビデンス構築のための体制整備は十分とはいえません。
- 今後の社会において、看護の価値への理解・評価を得ていくには、看護実践を可視化できる 大規模データベースの充実が不可欠です。
- DiNQLが、**より多くの病院の参加**を得て大規模データベースとして充実すれば、**ベンチマークの精度**も上がり、さらなる看護の質向上が期待でき、**より強力なエビデンス創出**につながるという好循環が生まれます。このことは**臨床現場における労働環境の向上**にも寄与します。

DiNQLは、日本の
「**看護を代表する大規模
データベース**」を目指し、
大きくリニューアルします

2023年からDiNQLが変わります

入力負担の軽減

- 入力項目が目的別(褥瘡、身体的拘束等)で選びやすくなります。
- 一度入力すれば、大きな変更のない項目を「年1度入力する項目」として整理し、「月1度または定期的入力する項目」のみに集中してデータを収集・入力できます。
- 画面上のガイダンスも見やすくなります。

ベンチマーク評価・データを活用した改善活動の支援

- 現状の概要把握のため、新たに「病院・病棟分析レポート」を定期的に提供します。
- 病院独自の項目を新たに設定・入力・評価できるようにします。
- 参加病院が研究者等へデータを提供し、改善活動の支援を受けられるようになります。

参加費が無料に

- 日本を代表する看護の大規模データベースの構築に向けて、参加病院の全国規模への拡大を目指します。

「トライアル機能」(お試し参加)の導入

- 参加前に一定期間、操作方法やベンチマーク機能等の体験ができます。



参加費の変更(無料化)について

- 看護の大規模データベースとしての充実を図るため、より多くの病院が参加しやすくなるよう、2023年度より**参加費を無料**とします

参加費変更の経緯

- 参加病院の看護の質改善を図るために、DiNQLシステムを利用するという考え方で参加費を徴収し参加いただきました。
- 多くのデータに基づくエビデンスを構築し、看護政策の提言そして看護政策の実現を目指していくためには、多くの医療機関がDiNQLに参加する必要があります。
- 看護政策の実現により、看護職の看護実践や労働環境改善へつながり、患者へ提供する看護の質向上となります。
- また、多くの医療機関が参加することで、ベンチマークの比較対象病棟が増え、ベンチマーク評価がより有用になります。
- 今回のDiNQL事業の見直しは、看護の大規模データベース化に向けた第1段階であり、多くの病院の参加を考え、参加費についても無料化することとしました。

データの第三者提供の開始について

第三者提供開始の目的

- ①研究者等へデータを提供し、第三者の支援を受けることでデータの読み解きや利活用を促進し、看護の質改善活動を充実させるために、参加病院が自身の判断で、研究者等に自病院のデータやベンチマーク結果を提供できるようにします。
- ②都道府県看護協会・行政が政策提言・事業企画に活用することで、政策提言や労働環境等の改善につなげるために、本会から都道府県看護協会・行政に対し、病棟単位の集計値の提供を開始します。(提供不可の旨を本会へ通知した病院は集計の対象から除く)

2024年度以降に開始を予定していること

- 2024年度以降、DiNQLデータのさらなる周知・活用そして看護の質向上・政策提言への活用に向け、研究者へのデータ提供を検討しています。(2023年度にデータ提供の運用について検討します)

今後の予定

2023年度

新たなDiNQLの
システム開始

3月

4月

5月

6月

7月

8月以降

募集期間(3月～6月)

新システムの利用開始(7月以降)

現参加病院

継続申込み

ITシステム上で申し込み／同意書は再度提出
現ITシステムを現ID・パスワードで利用可能

新規参加・再参加病院

本申込

本会公式Webサイトから
申込ページへアクセスし、
同意書を提出

申込完了後、順次
ID・パスワードを発送

トライアルから参加

本会担当部署へ連絡

トライアル用の
ID・パスワードを発送

リニューアルに伴うシステム停止

新ITシステムの利用開始

ID・パスワードは継続利用

新ITシステムの利用開始

トライアル用
ITシステムを体験

本申込みへ

本会で検討・実施

新ITシステムのブラッシュアップ

研究者へのデータの第三者提供について検討

既存の質指標の見直し・新しい質指標の検討

おわりに

- 今回のDiNQL事業のリニューアルは、看護の大規模データベース化に向けた第1段階です。
- 2023年度には、既存の質指標の見直し・新しい質指標の検討を行うとともに、2024年度以降に研究者へのデータ提供の開始を検討できるよう運用を検討するなど、看護の大規模データベース化に向けた検討を引き続き行ってまいります。

労働環境の整備と看護の質向上にむけて、

ぜひDiNQL事業への参加・協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

日本看護協会医療政策部看護情報課

TEL :03-5778-8495

メール:database@nurse.or.jp



DiNQL[®]

Database for improvement of Nursing Quality and Labor

© 2023 Japanese Nursing Association